

平成21年度リハビリテーション従事者研修会 ベーシックコース開催要領

- 1) 目的：病院から提供される退院時リハビリ情報提供書（仮称）等を活用し、関係機関と連携のとれるリハビリ従事者を育成する。
- 2) 方針：参加しやすい わかりやすい基礎コース
連携方法とリスク管理に視点を置いた講義
生活リハビリテーションですぐに使える実技を重視
講師は各管内の中核的病院及び京都府リハビリテーション支援センター
- 3) 対象者：在宅や施設、病院・診療所等で実際に利用者様や患者様のリハビリテーションに従事されている方（看護師、ヘルパー、運動指導員、生活指導員・生活相談員等）
- 4) 内容：3回コース（2会場）

第1回 8月 2会場（1会場24名）13：30～17：00

- 「地域リハビリテーション支援センターインフォメーション」中丹 13：30～13：45（15分）
- 「すぐに使える福祉用具（自助具）」 13：45～14：45（1時間）
 - <講義> 福祉用具の基礎知識、自助具、疾患別注意点や工夫など
 - <実技> 自助具の作り方、使い方
- 「展示介護福祉機器紹介」 14：45～14：55（10分）
- 「すぐに使える関節可動域（ROM）訓練」 15：00～17：00（2時間）
 - <講義> ROM訓練、ストレッチの基礎知識
疾患別にみたROM訓練の注意点、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方
 - <実技> 可動域訓練、ストレッチにおける注意点（骨格標本、上肢下肢体幹）
ベッド、車いすにおけるポジショニングのポイント

第2回 9月 2会場（1会場24名）13：30～16：50

- 「地域リハビリテーション支援センターインフォメーション」京都府 13：30～13：45（15分）
- 「すぐに使える筋力訓練」 13：45～15：30（1時間45分）
 - <講義> 筋力・筋持久力トレーニングの基礎知識、疾患別にみた運動時の注意点
アセスメント、運動機能向上、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方
 - <実技> 高齢者向けの筋力訓練、転倒予防体操
ウォームアップ、クールダウン、バイタルチェック
- 「すぐに使える摂食嚥下訓練」 15：40～16：50（1時間10分）
 - <講義> 摂食嚥下障害、誤嚥の種類、嚥下テスト、嚥下訓練の基礎知識
疾患別にみた摂食嚥下訓練の注意点、生活上の工夫など（症例紹介）
退院時リハビリテーション情報提供書の活用方法、連携の取り方疾患別注意点
 - <実技> 3分で出来る嚥下訓練
アイスマッサージ、食事介助手技など

第3回 10月 2会場（1会場24名）13：30～17：00

- 「すぐに使える住環境調整」 13：30～14：30（1時間）
 - <講義> 住環境整備の意義、高齢者、障害者の住環境基礎知識

平成21年度 リハビリテーション従事者研修会受講希望者アンケート

受講希望者御自身をご記入ください。

受講希望者名 ()

該当する番号に をつけてください。

1 あなたのリハビリテーションへの従事状況を教えてください。(複数回答可)

- (1) リハビリの実施にあたって、責任者としての立場である。
- (2) 他職員の指導的立場にある。
- (3) 患者・利用者へのリハビリに日常的に従事している。
- (4) 必要なケースがあった時に、個別に運動機能の維持・向上への支援を実施している。
- (5) 生活支援や生活を広げていく中で、リハビリの視点を持って対応している。
- (6) 従事経験は無いが、今後従事する予定。
- (7) その他 ()

2 あなたがリハビリテーションに関わることでの課題や今の悩みを教えてください。

- (1) 基本的な知識や技術が不足しているため、自ら実施している事に不安。
- (2) 現在実施しているが、他職員に伝達、説明出来るだけの根拠や技能が不足している。
- (3) リハビリの必要な方と関わりがあるが、退院時の情報提供書に記載されている内容がよくわからない。または実施が出来ない。
- (4) 生活の支援をする上で、対象者の機能の維持、生活の向上を目指したリハビリの視点の取り入れ方がよくわからない。
- (5) 個別リハビリテーションにおける、アセスメント能力に不安を感じる。
- (6) 嚥下障害のある方への、アプローチに苦慮している。
- (7) 移乗動作や体位の安定のさせ方等の基本的な技術に不安がある。
- (8) 住環境やベッド周囲などの環境整備について、十分な知識がない。
- (9) 対象者に合った自助具・福祉機器等が適正に選択できない。
- (10) その他 (具体的に)

3 リハビリテーションに対して自分の業務において取り入れたいと考えていること、今研修に期待すること等下記に記載してください。

疾患別にみた住環境調整の注意点、福祉用具、住宅改修上の工夫など

「展示介護機器紹介」 14:30～14:40(10分)

「すぐに使えるトランスファーテクニク」 14:50～16:50(2時間)

<講義> 移動・移乗の基礎知識、疾患別にみた移動移乗介助法の注意点

生活上の工夫など、生活リハビリテーションの観点から(症例紹介)

退院時リハビリテーション情報提供書と活用方法、連携の取り方

<実技> 移動・移乗介助手技

「受講証授与」 16:50～

【日程、会場、講師】

【ベーシックコース】

第1回テーマ 福祉用具 ROM訓練	開催日		会場		福祉用具 講師	ROM訓練 講師
	8/6	木	福知山	中丹西保健所	渡辺病院 OT 永吉恭子	福知山市民病院 PT 藪内潤一
	8/7	金	舞鶴	中丹東保健所	京都協立病院 OT 今井昌之	荒木クリニック PT 高橋洋平

第2回テーマ 筋力訓練 摂食嚥下	開催日		会場		筋力訓練 講師	摂食嚥下 講師
	9/3	木	福知山	中丹西保健所	福知山市民病院 PT 田中宏典	福知山市民病院 ST 福井教子
	9/4	金	舞鶴	中丹東保健所	舞鶴共済病院 PT 高橋奈津子	綾部ルネス病院 ST 浦野由香梨

第3回テーマ 住環境調整 トランスファー	開催日		会場		住環境調整 講師	トランスファー 講師
	10/1	木	福知山	中丹西保健所	渡辺病院 OT 權作奈都子	五十鈴荘 PT 神内昭次
	10/2	金	舞鶴	中丹東保健所	舞鶴赤十字病院 OT 高岡祥子	綾部市立病院 PT 田主篤司

実技講師

京都府リハビリテーション支援センター 乃美OT

中丹地域リハビリテーション支援センター 田和PT

5) 申込みと締切 平成21年7月3日(金)必着で、別紙申込み書によりFAXまたはE-mailでお申し込みください。

6) 受講決定 平成21年7月17日までに、受講の可否について通知します。

宛先 京都府中丹東保健所保健室健康支援担当
(0773-76-7746)内海 行

(別紙)

平成21年度 リハビリテーション従事者研修会 申込書

所属名	
事業所種別 (をつけてください。)	居宅支援事業所 ・ 訪問看護 ・ 訪問介護 ・ 通所介護 ・ 通所リハビリ ・ 介護老人福祉施設 ・ 介護老人保健施設 ・ 介護療養型医療施設 その他 ()
担当者	
連絡先	F A X e-mail

< 受講推薦者 >

フリカ`ナ		希望する会場 に をつけて ください。	舞鶴：中丹東保健所 福知山：中丹西保健所 どちらでも可	
氏 名				
職 種 名	看護職	介護職	ケアマネジャー	その他
経験年数				